

○タイプ別感震ブレーカー等の主な特徴の比較

	性能・機能				主な特徴				備考	製品のイメージ※	
	出火予防性能 【必須項目】		避難安全等確保機能 【選択項目】		価格	電気工事	作動の 信頼性	復旧の しやすさ			
	感震遮断	予防範囲	照明確保	通電継続 回線確保							
簡易タイプ	(簡易試験)	★	★★★★	—	—	安価	不要	やや低く ばらつき のおそれ	やや困難	<ul style="list-style-type: none"> 感震性能にやや劣り、ユーザー自ら取付けることから、設置方法に伴う作動の信頼性にばらつきが生じるおそれがある。 既設分電盤の形状によっては、取付け困難な場合がある。 揺れと同時に建物内の通電が一斉に遮断されることから、別途、避難用の照明等の確保が必要。 	 <p>地震の揺れに伴い、おもりが落下したり、ハネが作動したりすることで、既設の分電盤のノブを操作し、電気を遮断するタイプ</p> 
	(標準試験)	★★	★★★★	—	—	安価	不要	高いが ばらつき のおそれ	やや困難	<ul style="list-style-type: none"> 感震性能は高いが、ユーザー自ら取付けることから、設置方法に伴う作動の信頼性にばらつきが生じるおそれがある。 既設分電盤の形状によっては、取付け困難な場合がある。 揺れと同時に建物内の通電が一斉に遮断されることから、別途、避難用の照明等の確保が必要。 	
コンセントタイプ	(簡易試験)	★★	★	可	可	比較的 安価	必要な 場合あり	やや低い	容易	<ul style="list-style-type: none"> 単体の設置の場合は比較的安価。電気工事が不要なタイプ（コンセント差込型）と必要なタイプ（コンセント埋込型）の両者がある。 感震性能にやや劣るが、設置方法による作動の信頼性のばらつきが小さい。 電気製品の種別、レイアウトの変更等に応じた効果的な設置、継続的な対応が必要。 作動時においても照明等の通電は確保されることから、通電の遮断に伴う避難等の支障は小さい。 	 <p>コンセントに内蔵されたセンサーが地震の揺れを感知し、コンセントの電気を遮断するタイプ</p>
	(標準試験)	★★★★	★	可	可	比較的 安価	必要な 場合あり	高い	容易	<ul style="list-style-type: none"> 単体の設置の場合は比較的安価。電気工事が不要なタイプ（コンセント差込型）と必要なタイプ（コンセント埋込型）の両者がある。 感震性能が高く、設置方法による作動の信頼性のばらつきが小さい。 電気製品の種別、レイアウトの変更等に応じた効果的な設置、継続的な対応が必要。 作動時においても照明等の通電は確保されることから、通電の遮断に伴う避難等の支障は小さい。 	
	(全館設置)	★★★★	★★	可	可	高価	必要な 場合あり	高い	容易	<ul style="list-style-type: none"> 建物全体を対象に設置する場合は比較的高価。電気工事が不要なタイプ（コンセント差込型）と必要なタイプ（コンセント埋込型）の両者がある。 感震性能が高く、設置方法による作動の信頼性のばらつきが小さい。 レイアウトの変更等への継続的な対応の必要性が小さい。 作動時においても照明等の通電は確保されることから、通電の遮断に伴う避難等の支障は小さい。 	<p>親機と子機に分かれ、親機に内蔵されたセンサーが地震の揺れを感知し、電波等により複数の子機に信号を送り、子機におけるコンセントの電気を遮断するタイプもある</p>
分電盤タイプ	(標準試験)	★★★★	★★★★	可	—	高価	必要	高い	やや困難	<ul style="list-style-type: none"> 分電盤全体を交換する場合は比較的高価。既設の分電盤に増設する場合は比較的安価。電気工事が必要。 感震性能が高く、専門工事業者による設置も含め、作動の信頼性が高い。 感震後、通電の遮断までに一定の待機時間が設定されており、避難等の支障が生じるおそれ小さい。 遮断機が作動する前に停電した場合は、復電時に自動遮断する機能が備わっている。 待機時間後には、建物全体にわたり通電が遮断されることから、在宅用医療機器等、通電を継続する必要性の高い回線の確保はできない。 	 <p>〈内蔵型〉</p>  <p>〈後付型〉</p> <p>分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、電気を遮断するタイプ。既設の分電盤に後付けで設置するタイプもある</p>
	(総合タイプ)	★★★★	★★★★	可	可	—	必要	高い	—	<ul style="list-style-type: none"> 電気配線の設計段階から導入を考慮する必要があるが、分電盤タイプの設置費用に、回線の複数化に伴う費用が必要。 感震性能が高く、専門工事業者による設置も含め、作動の信頼性が高い。 感震後の通電の遮断に対して、回線毎に、即時遮断、一定時間後の遮断、通電の維持を制御することが可能であり、避難等の支障や通電の遮断に伴う不都合が生じるおそれ小さい。 中・長期的な視点から、防災性の高い住宅等の標準的な仕様として、今後の開発・普及が期待。 	—

※これらは想定される製品のイメージであり、「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」の公表時点で、当該ガイドラインに基づく性能が確認されたものではありません。